

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 9日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県三豊市詫間町詫間2102番地4

氏 名 大倉工業株式会社

詫間工場長 平尾 敦

電話番号 0875-83-2511



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大倉工業株式会社 詫間工場
事業場の所在地	香川県三豊市詫間町詫間2102番地4
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	売上高 105億円
③ 従業員数	82名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度2022年度実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	排出量	770.50	7.61	18.91	4.13	17,752.91	1,397.24	0	
	紙くず	アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	5.50	0	89.80	0	0	0	0.92	0	
(これまでに実施した取組) 当工場はバイオマスボイラーの燃料として木くずを大量に利用している。又、不良品となったパーティクルボードを自社の破砕機で破砕し、バイオマスボイラーの燃料に利用している。バイオマスボイラーの集塵灰は再生利用業者に排出している。(安定処理後、再生ビーズ原料に加工される。)パーティクルボード製造ラインの異物選別機増設後、混合廃棄物排出量削減の為、メッシュ振動コンベアー導入により、木屑の原料化が図れ混合廃棄物が削減されている。									
②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	排出量	762.68	1.27	0	0	19,274.67	995.24	0	
	紙くず	アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	6.00	0	119.89	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組) 2次破砕機後の異物選別機より排出される混合廃棄物からの木屑原料化を検討し、混合廃棄物の削減に努める為、分級スクリーンと風力選別機の導入を計画している。(2023年4月稼働済み) 燃え殻量の削減として、ボイラー炉内の部分改修や小まめなメンテナンスを実施し、燃料効率を高めることにより、燃え殻量の削減をおこなっていく事を継続する。									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラと混合廃棄物に種類分けしたものを産廃業者で固形燃料化並びに埋立処分していたが、有価物として引き取り可能な廃プラについて、2023年1月より再生利用業者に有価販売を開始した。異物選別機増設以降のメッシュ振動コンベアー導入で、木屑の原料化が図れ混合廃棄物の排出量が昨年同様、減少している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 2次破砕機後の異物選別機より排出される混合廃棄物(金属、木屑、砂等)から木屑原料化を検討し混合廃棄物の削減に努める為、分級スクリーンと風力選別機の導入を計画している。(2023年4月稼働済み)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度2022年度実績】								単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
		紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
		0	0	0	0	0	0	0		
(これまでに実施した取組)										
		【目標】								単位:t
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
		紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
		0	0	0	0	0	0	0		
(今後実施する予定の取組)										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度2022年度実績】								単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	17,752.91	0	0	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	16,892.61	0	0	
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず		
		5.50	0	0	0	0	0	0		
		5.50	0	0	0	0	0	0		
(これまでに実施した取組) 当工場内で発生する木くずをバイオマスボイラー用燃料として処理している。										
		【目標】								単位:t
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	19,274.67	0	0	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	18,392.10	0	0	
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず		
		6.00	0	0	0	0	0	0		
		6.00	0	0	0	0	0	0		
(今後実施する予定の取組) 引き続き、当工場内で発生する木くずをバイオマスボイラー用燃料として処理する。										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
【前年度2022年度実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
0	0	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組)								
【目標】								単位:t
産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
0	0	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組)								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度2022年度実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
全処理委託量	770.50	7.61	18.91	4.13	0	1,397.24	0	
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
再生利用業者への処理委託	0	0	18.91	0	0	0	0	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
0	0	89.80	0	0	0	0.92	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	89.80	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組) バイオマスボイラー集塵灰の再生利用業者への排出を継続する。(安定処理後、再生ピーズ原料に加工される。) 廃プラと混合廃棄物に種類分けしたものを産廃業者で固形燃料化並びに埋立処分していたが、有価物として引き取り可能な廃プラについて、2023年1月より再生利用業者の有価販売を開始した。								

【目標】		単位:t						
産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
全処理委託量	762.68	1.27	0	0	0	995.24	0	
優良認定処理業者への処理	0	0	0	0	0	0	0	
再生利用業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
0	0	119.89	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	119.89	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>2次破碎機後の異物選別機より排出される混合廃棄物(金属、木屑、砂等)からの木屑原料化を検討し混合廃棄物の削減に努める為、分級スクリーンと風力選別機の導入を計画している。(2023年4月稼働済み)</p>								
※事務処理欄								

(第6面)

備考

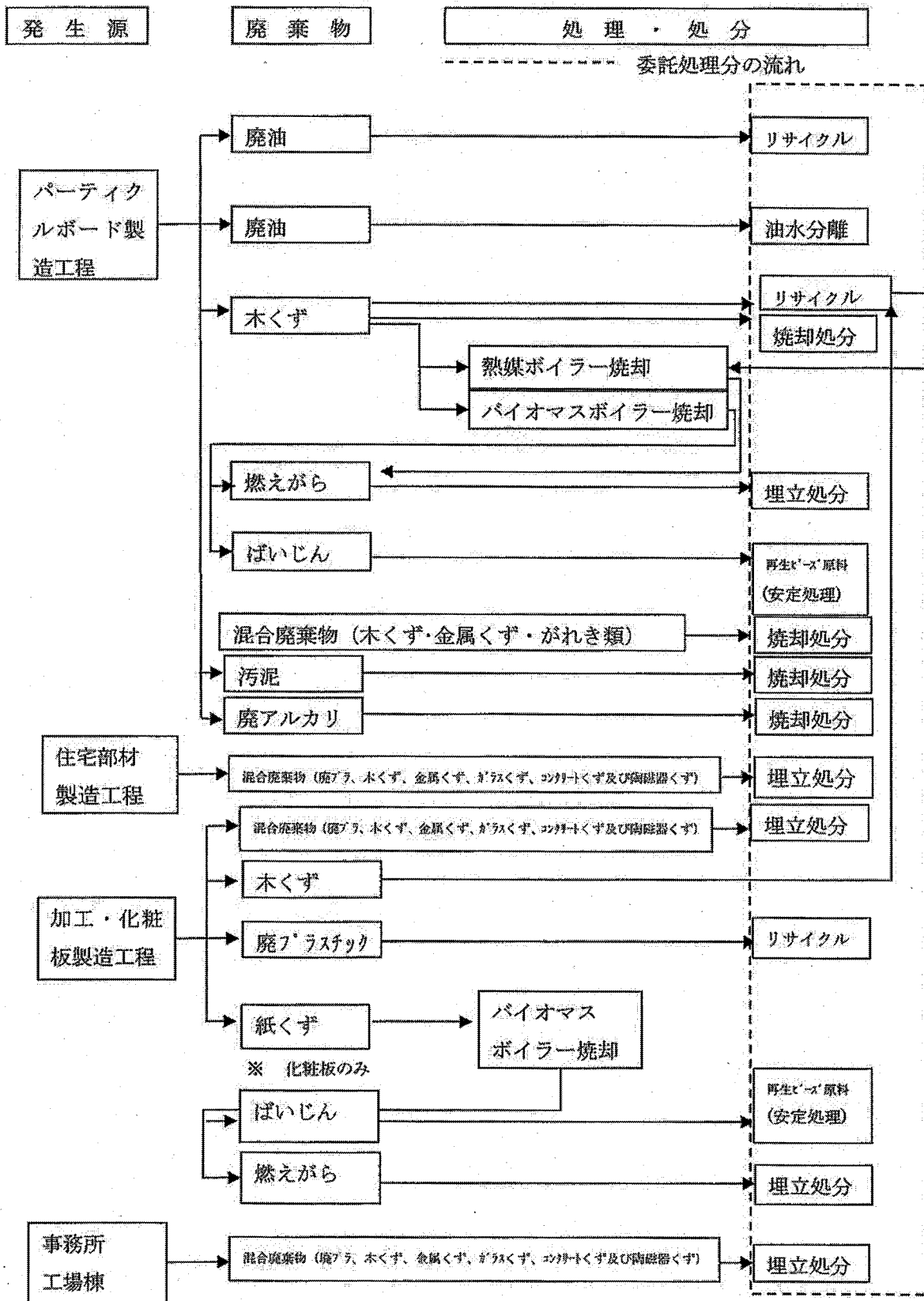
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

様式第二号の八（第八条の四の五関係） 別紙

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

大倉工業株式会社 詫間工場

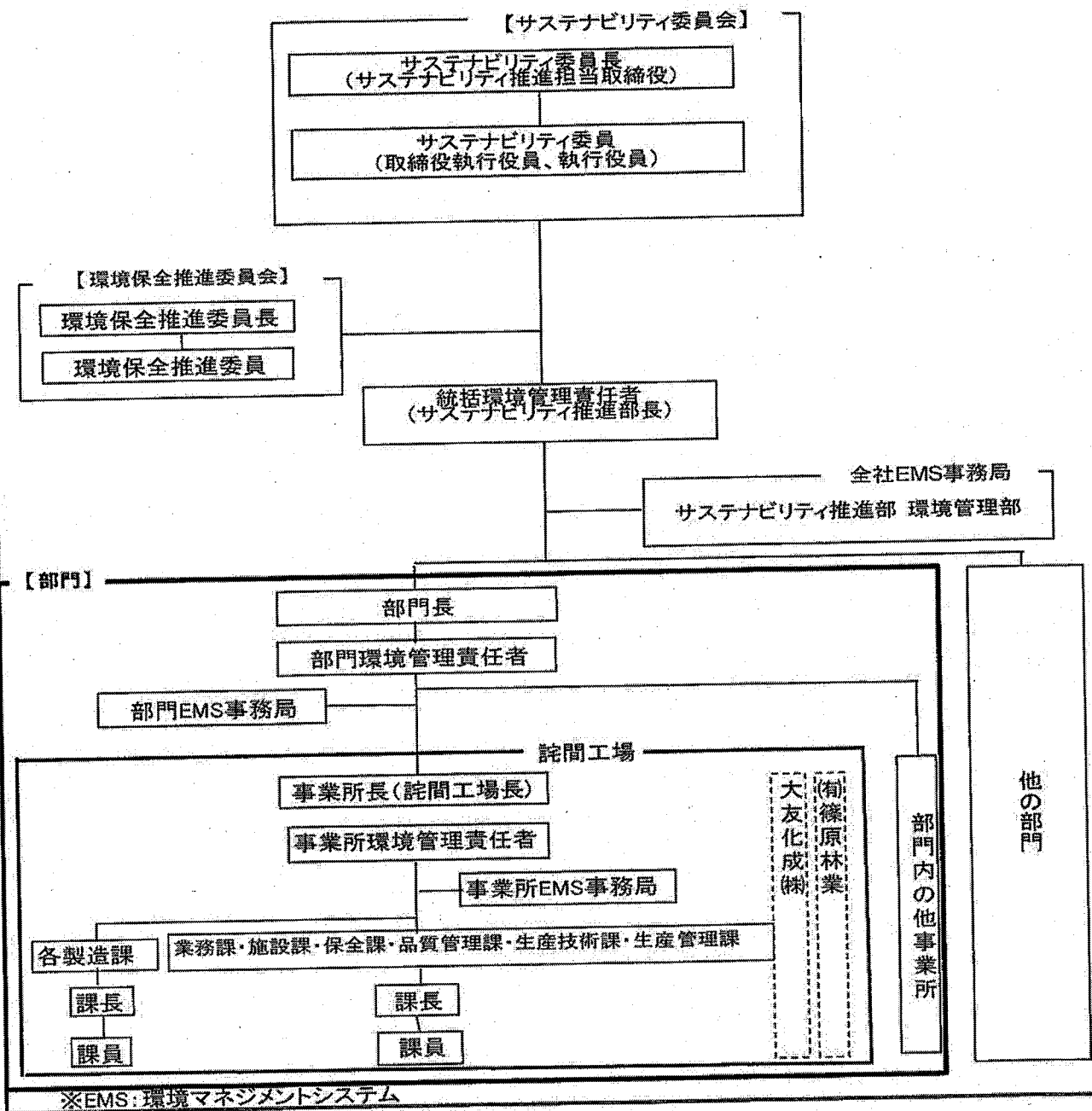
産業廃棄物処理計画書

様式第二号の八（第八条の四の五関係） 別紙

(管理体制図)

事業所環境管理責任者	大倉工業(株)詫間工場	工場長 平尾 敦
事業所廃棄物担当	業務課	
役割	事業所環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○詫間工場EMSの責任者 ○大倉工業グループ環境目的を事業所へ周知 ○詫間工場EMSの確立と運営 ○詫間工場環境目的及び事業所環境目標の制定
	事業所EMS事務局	○事業所環境管理責任者を補佐する組織
割	事業所廃棄物担当	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握、改善の検討 ○処理業者の選定及び管理 ○委託契約の締結 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育

詫間工場・環境管理組織図



※EMS:環境マネジメントシステム